

びぶいお定期便

新一年生の皆さん、ご入学おめでとうございます。入学式から早一ヶ月が経ちますが、高校生活は慣れましたか？二、三年生の皆さんも学年が上がって心機一転、良いスタートが切れるといいですね。

さて、図書館では5月28日に図書館マルシェを開催します。フリーマーケットで手作りのお菓子や雑貨、その他にも色々なお店が出店します。友達を誘って遊びに来てみませんか？

恵那市中央図書館 ジュニアコーナー 3・4月の新着本紹介

書名	著者名	出版者	請求記号
どこまでも生きぬいて	水谷修/著	PHP 研究所	K159/ミ/
夢のお仕事さがし大図鑑	夢のお仕事さがし大図鑑編集委員会/編	日本図書センター	K366/ユ/1
ハルキゲンたんの古生物学入門	川崎悟司/イラスト・文	築地書館	457/カ/
超・少年探偵団 NEO	大宮一仁/脚本	ポプラ社	913.6/オ/
百万ポンド紙幣	マーク・トウェイン/作	理論社	K933/ト/

今月のイチオシ!

今月のおすすめ びぶりお本

『ぱらっぱフーガ』 竹内真/著 双葉社
913.6/タ/ ジュニアコーナー

中学時代、吹奏楽部でアルトサックスを吹いていた風香と有人。高校でも一緒に吹奏楽をやろうと、そろって同じ学校を受験するも、有人は不合格になってしまう。片や吹奏楽の強豪校、片や吹奏楽部の無い男子校。別々の高校に通いながらも、二人はいつか同じ舞台に立って演奏することを夢見て、音楽に打ち込んでいく。

全く正反対な学校に進んだ二人の視点から、交互に物語が進みます。部活にかける情熱、進路の悩みなど、青春のすべてが詰まった一冊です。

恵那農業高等学校

4月10日、新一年生158名を迎え、総勢449名で、心を新たに、平成29年度のスタートを切りました。25日には各クラスから2名選出の図書委員からなる第一回「図書委員会」が図書館で開かれます。そこで、今年一年の図書活動の目標が決まります。今年も頑張ってくださいと思います。

恵那特別支援学校

【恵那特別支援学校 入学式・始業式】

桜の花が咲き始めた4月10日(月)、小学部8人、中学部15人、高等部24人、合計47人の児童生徒が転入学し、県議会議員様をはじめ、21名のご来賓の皆様に見守っていただく中、滞りなく入学式を行うことができました。

全校児童生徒は150人となります。今年度も地域の様々な施設や場所で教育活動を行いますので、よろしくお願いいたします。

当校PTAからは約13万円分の本の寄贈をいただきました。たくさんの本を読めることに感謝をし、本との出会いを大切にしていきたいです。

購入した本の中から、おすすめの本を紹介します。

『きょうのおやつは』

飛び出さないのに立体的に見える、鏡面反射を利用した鏡の仕掛け絵本です。おやつとはホットケーキのことで、2人分のホットケーキを作っておやつに食べましょうというホットケーキのレシピ絵本です。たまごを割るページでは、たまごが描かれているところを持ってページをめくったり、牛乳や調理器具が描かれているページでは、牛乳や調理器具が描かれているところを持ってページをめくったりすることで、自分でおやつを作っているような気分が味わえます。子どもも大人も楽しめる一冊です。

是非読んでみたいお薦めの作家

「宮沢賢治」



皆さんは、宮沢賢治という人を知っていますか？ 宮沢賢治は、詩人であり、童話作家であると同時に、農業高校の先生でもありました。『雨にも負けず』は、賢治の残した手帳に書かれていた走り書きのようなもので、弟が見つけた賢治のトランクの中から、偶然出てきたと言われています。賢治は、大変活動的でスーパーマンのような人でした。上に書いたような顔以外にも、地質学の研究、水彩画家、菜食主義者などなどの多彩な顔を持っていました。また、生涯独身でもありました。

リブラリアン・ホンダ

恵那高等学校

恵那高校図書室も新年度を迎え、新しく利用する生徒で賑わうようになりました。

今年度、恵那高校図書室では「そうだ 活字を読もう！」をキャッチフレーズにしました。このキャッチフレーズには、誰もが気軽に利用することができ、前年度よりも多くの生徒に、より多くの本を読んでもらいたいという願いが込められています。

忙しい高校生活の合間に、心と図書室に立ち寄り、自分の好きな本を好きなだけ読める、そんな図書室を目指していきたいです。また、前年度よりも数多くの企画やイベントを開催していく予定です。



「花」をテーマに図書委員が展示をしました